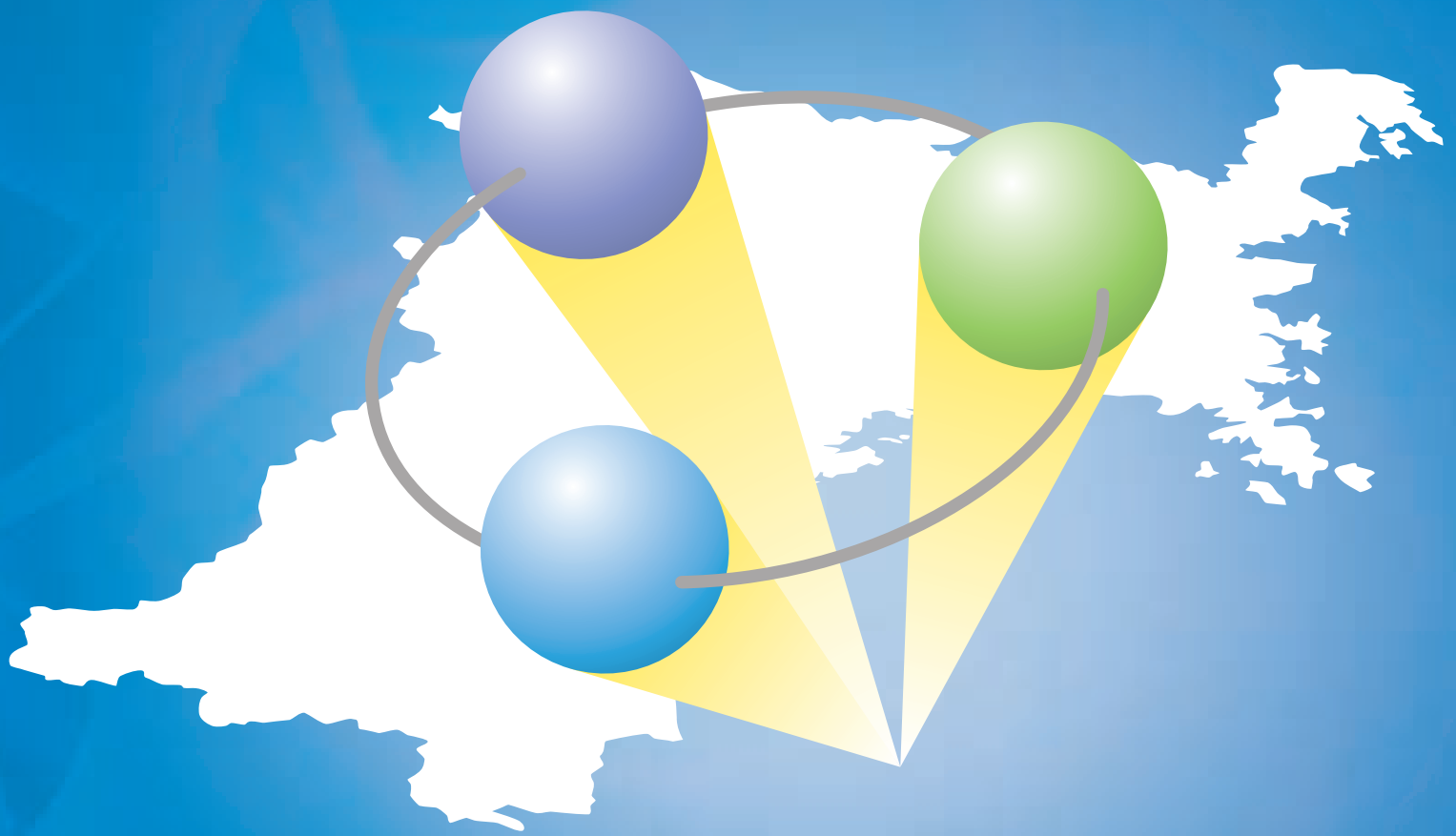


宮城の将来ビジョン

富県共創!

活力とやすらぎの邦づくり



2007-2016

宮城県

経済のグローバル化や少子高齢化の急速な進行など大きな転機を迎えた社会において、すべての県民が希望を持って安心して生活できる地域づくりを進めていくことができるように、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆様と共有し、その着実な実現に向けて県が優先的・重点的に取り組むべき施策を明らかにする「宮城の将来ビジョン」を策定いたしました。

このビジョンの推進にあたりましては、市町村と密接に連携を図りながら、県民の皆様をはじめ企業やNPOなどとの協働や情報共有のもとに、衆知を集めた県政運営に取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

平成19年3月 宮城県知事 村井 嘉浩



少子高齢化の進行により、県の人口は、平成17年の約236万人から、平成28年には230万人前後へ減少する見込み

さらなる地方分権の推進や
県などの広域自治体の新たな
あり方を検討する動きが活発に

生産年齢人口の減少や老年人口の
増加により、経済の停滞が懸念される

市町村合併の進展により、
本県の市町村はほぼ半数に

グローバル化や情報化の
進展の影響が顕著に

「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」

と思える宮城県をつくるため

しっかりとした経済基盤を築き、創出される富の循環によって、福祉や教育、環境、社会資本整備などへの取組を着実に推進

県政運営の理念

「富県共創！ 活力とやすらぎの邦づくり」

10年後に目指す姿（将来像）

- 県民一人ひとりが、美しく安全な県土にはぐくまれ、産業経済の安定的な成長により、幸福を実感し、安心して暮らせる宮城
- 宮城に生まれ育った人や住んでいる人が活躍できる機会にあふれ、国内からも国外からも人を引きつける元気な宮城

I 富県宮城の実現
～県内総生産10兆円への挑戦～

**II 安心と活力に満ちた
地域社会づくり**

**III 人と自然が調和した
美しく安全な県土づくり**

政策推進の基本方向

I 富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～

平成28年度には「県内総生産額を10兆円以上にする」という県民と共有の目標を掲げ、県民や企業の皆さんが力を発揮できる環境づくりを推進し、我が県の総力を結集しその実現を目指します。

II 安心と活力に満ちた 地域社会づくり

生まれ育ち、学び、働き、憩うといった多様な生活の場面で、県民だれもがどの地域に住んでも安心して過ごせる地域社会の形成を目指し、特に未来を創造する人づくりを中心に取り組みます。

III 人と自然が調和した 美しく安全な県土づくり

経済成長と環境保全が両立する社会システムを構築するとともに、近い将来、ほぼ確実に発生が予想される宮城県沖地震などの災害による被害を最小限にする県土づくりに取り組みます。

安心と活力に満ちた 地域社会づくり

- 1 子どもを生み育てやすい環境づくり
- 2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり
- 3 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築
- 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
- 5 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

人と自然が調和した美しく 安全な県土づくり

- 1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立
- 2 豊かな自然環境、生活環境の保全
- 3 住民参加型の社会資本整備や良好な景観の形成
- 4 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

富県共創！
くに
活力とやすらぎの邦づくり

富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～

- 1 育成・誘致による県内製造業の集積促進
- 2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化
- 3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化
- 4 アジアに開かれた広域経済圏の形成
- 5 産業競争力の強化に向けた条件整備

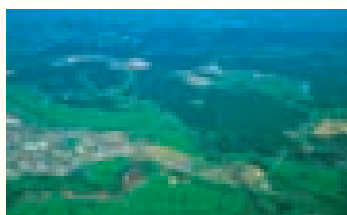
県政運営の基本姿勢

- 多様な主体との連携・協働体制を構築し、民の力を最大限に生かす衆知を集めた県政を推進します。
- 住民にもっとも近い基礎自治体である市町村の取組を高度で専門的な機能を生かしながら支援します。
- 行財政改革に取り組み、組織のスリム化を進めつつ、効果的・効率的な県政運営を推進します。
- 一層の行政能力の向上を図り、広域自治体としての政策力、調整力を現場での課題解決に向け発揮します。
- 東北地方の発展をけん引する気概を持ち、広域的な視点に立つ県政を展開します。
- 道州制など、地方自治の制度改革について、主体的に取り組みます。

I 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

1 育成・誘致による県内製造業の集積促進

- 製造業を中心に強い競争力ある産業を創出するため、県内企業と関係機関の連携を強化し、技術・経営革新を一層促進します。
- 電気機械製造業を中心に、県内の学術研究機関の持つ技術力や研究開発力を活用した高度技術産業を育成します。
- 平成28年度までに、電機・電子、自動車関連、食品製造業の製造品出荷額の2割以上の増加を目指します。
- 次代を担う新たな産業について、可能性の高い分野を見極め、将来の集積形成に向けた取組を行います。



仙台北部・第二仙台北部中核工業団地(大和町・大衡村)

2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

- 東北各県などと連携しながら「観光王国」としての体制整備を戦略的に進めます。
- 新たな高付加価値サービスの創出支援や、まちづくりと連携した商店街づくりを推進します。
- 平成28年度までに、商業・サービス産業全体の付加価値額の2割増、観光客入込数の2割増、情報関連産業の売上げの3割増、健康福祉サービス業の大幅な成長を目指します。

3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化

- 農林水産物のブランド化の推進や、食品製造業・観光関連産業等の他産業との連携等により、競争力ある農林水産業への転換を図ります。
- 食材・食品の安全性に対する消費者の信頼にこたえられる生産体制を確立します。
- 県内での消費拡大・県内供給力の向上とそれにこたえる生産・流通体制を整備します。



宮城の新品種「もういっこ」



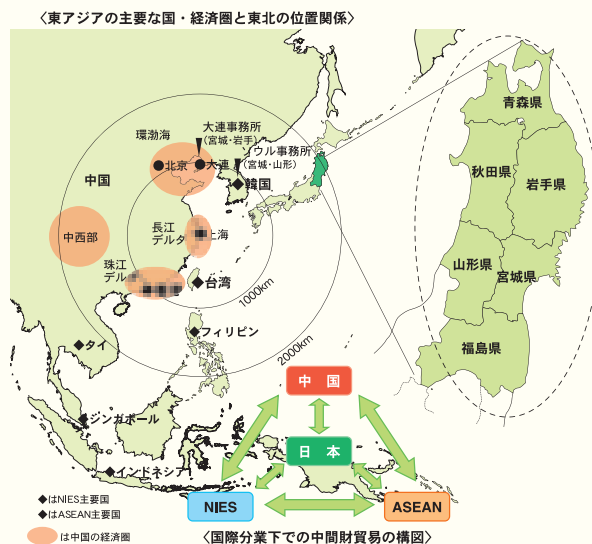
低コスト間伐の推進



サンマの水揚げ

4 アジアに開かれた広域経済圏の形成

- 県内企業の海外販路開拓を積極的に支援します。
- 東北各県との特性を生かした機能分担及び協力体制の構築などにより広域経済圏を形成し、圏域として自律的に発展できる産業構造を構築します。
- 宮城・山形両県で将来像を共有し、岩手県や福島県とも効果的な連携を進めながら、アジアに開かれた広域経済圏を形成します。



5 産業競争力の強化に向けた条件整備

- 学校教育等と連動した産業人材育成体系の構築を進めるとともに、県内産業の成長・革新を担う人材を育成します。
- 事業者の経営力や生産・販売力強化のための支援を充実するとともに、活力ある企業活動等の環境整備を推進します。
- 仙台空港、仙台塩釜港及び石巻港の一層の機能強化を図るとともに、高規格幹線道路をはじめ、広域道路ネットワークの整備を推進します。



仙台空港



仙台塩釜港



高規格幹線道路

II 安心と活力に満ちた地域社会づくり

1 子どもを生き育てやすい環境づくり

- 夫婦が共に協力し合いながら、仕事と子育てが両立できる社会環境を整備します。
- 女性の雇用機会の拡大や就労支援を促進するなど、女性の就業率の向上に取り組みます。
- 市町村などと連携し、多様な保育サービスの充実を図ります。
- 行政と地域が連携し、児童虐待等の防止体制を強化します。



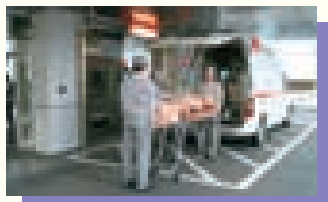
2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

- 児童生徒の学力向上に向け、教員の一層の指導力向上や、学校と家庭との連携により確かな学力の定着に向けた実効ある方策を進めます。
- 地域社会との連携のもと、児童生徒の道徳心などの豊かな心とたくましく健やかな体を育成します。



3 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

- 富県宮城の実現により就業機会の確保に取り組みます。
- 高齢者が社会貢献活動に参加するための環境づくりを促進するとともに、障害者が生きがいを持てる環境を整備します。
- 県民の心と体の健康づくりを推進します。
- 医療機能の集約化、拠点化、地域間の役割分担等を進め、医師確保や医師の地域的偏在の解消を図ります。
- 多様な学習機会や芸術文化・スポーツに親しめる環境整備を一層推進します。



救急搬送訓練の様子(仙台市)

4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

- 既存の社会資本の有効活用や、公共交通機関と合わせた公共施設の再編・配置など、従来の拡大基調からの転換を図り、コンパクトで機能的なまちづくりを促進します。
- 地域の特性を生かした集客交流や産業振興などにより地域間格差の是正を図り、活力に満ちた地域社会を実現します。
- 地域内での拠点化、集約化、機能分担や連携により、医療、教育、交通、情報通信基盤など県民生活に必要なサービスが提供できる体制整備を図ります。



5 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

- 警察や関係行政機関と地域社会の連携、住民による自主防犯組織との連携により、治安日本一を目指します。
- 外国人が地域社会の一員として安心して生活していけるように、市町村、関係機関と連携し、相談体制や情報提供体制の充実を図ります。



地域学校安全指導員
(スクールガード・リーダー)(利府町)



国際交流

III

人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

1

経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

- 環境に配慮した行動・活動を県民や事業者に対し促す意識啓発に取り組みます。
- 温室効果ガス排出の抑制に向け、省エネルギーや自然エネルギーの導入促進、エネルギーの地産地消に向けた取組を推進します。
- 廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進するほか、不法投棄の防止に向け、排出事業者及び廃棄物処理業者等への啓発活動や監視指導を強化します。



2

豊かな自然環境、生活環境の保全

- 県内の豊かで多様な自然環境と生態系の保全に積極的に取り組みます。
- 県民の健康的な暮らしを支える良好な生活環境を守り、改善していきます。



ラムサール条約の指定登録湿地 伊豆沼



天然ガス自動車

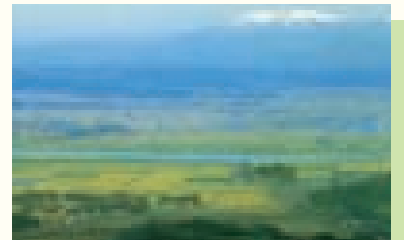
3

住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

- これまでの「新規の建設・整備を中心とした方向」から「維持管理を重視し、既存施設の保全と有効活用を図る方向」へと政策の重心を移し、長期的視点に立った社会資本整備を推進します。
- 住民と行政が連携し、地域に根ざした身近な社会資本の整備、維持管理に取り組む体制づくりを推進します。
- 住民と協働のもとで、地域の自然、歴史、文化等の多様な要素を生かした景観の保全と整備を推進します。



歴史的資源を生かした景観の形成
かわる
醸室（大崎市）



宮城の農村と蔵王連峰

4

宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

- 宮城県沖地震をはじめとする大規模災害に備え、市町村や関係機関と連携しながら被害を最小限にする県土づくりに取り組みます。
- 地震、津波などの観測体制を強化するとともに、広報・避難誘導態勢を整備します。
- 住民による自主防災活動や企業による地域防災活動を促進するとともに、その活動のリーダーとなる人材育成を行います。
- 被災後の県民の不安を軽減するため、正確な情報提供体制の整備を図るとともに、適切な被災者救済を行います。



昭和53年の宮城県沖地震による落橋

宮城の未来をつくる33の取組

県政運営の理念である「富県共創！ 活力とやすらぎの^{くに}邦づくり」を実現するため、3つの政策推進の基本方向に沿って、宮城の未来をつくる33の取組を行います。

I 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～（12の取組）

- | | | |
|------------------------------|---|-------------------------------|
| 1 育成・誘致による県内製造業の集積促進 | ① | 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興 |
| | ② | 産学官の連携による高度技術産業の集積促進 |
| | ③ | 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興 |
| 2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化 | ④ | 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興 |
| | ⑤ | 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現 |
| 3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化 | ⑥ | 競争力ある農林水産業への転換 |
| | ⑦ | 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保 |
| 4 アジアに開かれた広域経済圏の形成 | ⑧ | 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進 |
| | ⑨ | 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成 |
| 5 産業競争力の強化に向けた条件整備 | ⑩ | 産業活動の基礎となる人材の育成・確保 |
| | ⑪ | 経営力の向上と経営基盤の強化 |
| | ⑫ | 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備 |

II 安心と活力に満ちた地域社会づくり（14の取組）

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------------------------|
| 1 子どもを生き育てやすい環境づくり | ⑬ | 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり |
| | ⑭ | 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成 |
| 2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり | ⑮ | 着実な学力向上と希望する進路の実現 |
| | ⑯ | 豊かな心と健やかな体の育成 |
| | ⑰ | 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり |
| 3 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築 | ⑱ | 多様な就業機会や就業環境の創出 |
| | ⑲ | 安心できる地域医療の充実 |
| | ⑳ | 生涯を豊かに暮らすための健康づくり |
| | ㉑ | 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり |
| | ㉒ | 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現 |
| | ㉓ | 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興 |
| 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実 | ⑳ | コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実 |
| 5 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり | ㉕ | 安全で安心なまちづくり |
| | ㉖ | 外国人も活躍できる地域づくり |

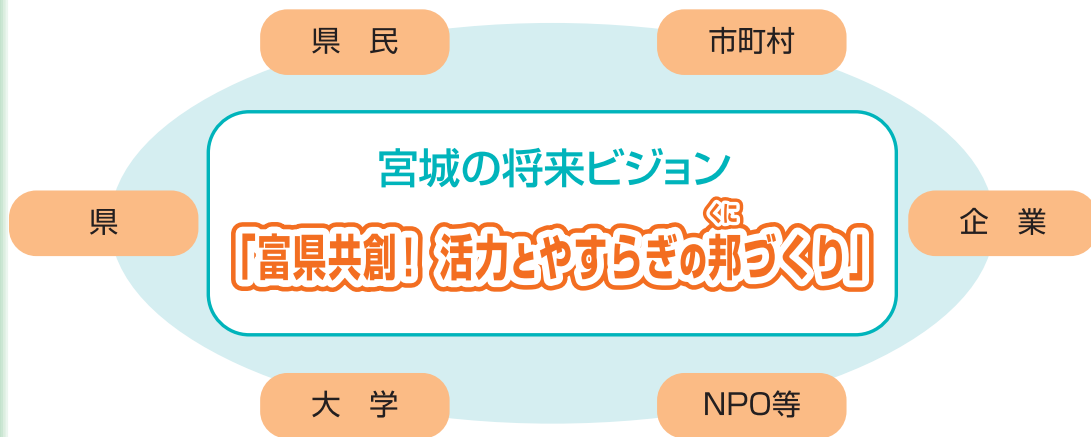
III 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり（7の取組）

- | | | |
|----------------------------------|---|--------------------------------|
| 1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立 | ⑳ | 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献 |
| | ㉘ | 廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進 |
| 2 豊かな自然環境、生活環境の保全 | ㉙ | 豊かな自然環境、生活環境の保全 |
| 3 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成 | ㉚ | 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成 |
| 4 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり | ㉛ | 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実 |
| | ㉜ | 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進 |
| | ㉝ | 地域ぐるみの防災体制の充実 |

「宮城の将来ビジョン」の実現に向けて

幅広い主体との協働により施策を展開します！

市町村と密接に連携を図りながら、県民をはじめとして企業、NPOなど幅広い主体との協働や情報共有のもとに施策を展開します。



ビジョン推進に向けた体制を整備し着実に取り組みます！

- 庁内に、知事を本部長とする「宮城の将来ビジョン推進本部」を設置し、ビジョン及び行動計画の進行管理やビジョン実現のために必要な取組の検討を行います。
- 県内の経済団体や大学、行政機関などで構成する「富県宮城推進会議」を組織し、富県宮城の実現に向け取り組みます。

「宮城の将来ビジョン行動計画」に基づき取組を推進します！

具体的取組や成果の数値目標などを示した「行動計画」（3年を期間）を定め、行政評価システムにより事業の有効性や効率性などを検証しながら、その取組を推進します。

計画期間・目標年度

平成19年度（西暦2007年度）を初年度とし、平成28年度（西暦2016年度）を目標年度とします。